

石川県立九谷焼技術研修所 平成30年度夏期講座
「判子を用いた金花詰技法の修得」の開催について

1 主 旨 九谷焼業界従事者や研修所卒業生などを対象に、技術や知識などを学ぶことを目的に、公開講座を開催します。(今年で32回目)

2 講座内容 「判子を用いた金花詰技法の修得」

金花詰の歴史や、市場での需要などもふまえた上で、判子を用いて、皿やマグカップに絵付けし技術を修得します。

(1) 日 時 平成30年8月7日(火)・9日(木)・17日(金)

日程	内容		講師
8/7 (火)	午前 9:00~ 9:20~10:20 10:30~12:00	所長挨拶、講師紹介 花詰について ・花詰の種類、歴史 ・判子について ・職人の現状、需要について 構図決め(墨当て) ・手順説明、実演 ・判押し練習	石川県九谷陶磁器商工業協同組合 連合会理事長 吉田正一氏 九谷焼伝統工芸士 佐伯善信氏
	午後 13:00~16:30	下地作り(洋絵具で彩色) ・手順説明、実演 ・課題作品制作 (マグカップ・7寸程度の丸皿)	
※8日(水)に研修所にて焼成			
8/9 (木)	午前 10:00~12:00	金判押し(金判・白盛) ・手順説明、実演 ・前日焼成したマグカップと丸皿に金判を押し ・希望者は判押し練習	九谷焼伝統工芸士 佐伯善信氏
	午後 13:00~16:00 16:00~16:30	金判仕上げ(手描きで金・白盛) ・仕上げ ・アンケート記入 ※後日、研修所にて焼成	
8/17 (金)	午後 13:00~16:30	作品講評 ・仕上がりの確認	九谷焼伝統工芸士 佐伯善信氏

(2) 場 所 石川県立九谷焼技術研修所 2階 視聴覚教室

(3) 対 象 九谷焼業界従事者

3 経緯

現在、業界では、高齢化による職人減少に伴い、判子技法の消滅が危惧されています。こうした中、早急に技術を継承したいという業界からの要望があり、判子技法を学ぶ機会を提供するため、昨年度は「九谷焼における文様判を押し技術(判子技法)の取得」を開講しました。

同講座後、判子技法を用いて、新たな商品づくりに取り組んだ方々もいました。今年度の夏期講座開設にあたり、昨年度の受講者から、より高度な判子技法を学びたいという強い要望があったことから、金花詰技法(判子技法の中でも難易度の高い技法)を取り上げた講座を実施することといたしました。

4 今年度の講座の特徴

判子を用いた金花詰技法は、全体に様々な花模様を施し、花の輪郭を金で描く華やかな技法です。昨年度、学んだ判子を押し技術を基に、花模様を器の表面に敷き詰めていく構成力や、金判(金線を押しするための判子)を押し技術の習得を目指します。

指導者の方は、九谷焼伝統工芸士 佐伯善信氏で、皿やマグカップの絵付け制作を通じて学ぶ内容です。併せて、石川県九谷陶磁器商工業協同組合連合会 吉田正一理事長から花詰の歴史や現状、市場での需要などの講義も行います。